



院外広報誌

地域の皆さまの健康をサポートいたします

札幌清田病院 だより



患者さんを

継続的・専門的に診る

外来看護・ケア



社会医療法人
札幌清田病院
理念

良質な専門医療を提供して地域社会に貢献する。
個別性と継続性を尊重した思いやりのある医療をめざす。

患者さんを継続的・専門的に診る

外来看護・ケア

札幌清田病院は地域のかかりつけ病院として、健康管理から、診断・治療、看取りまでの医療とケアを継続して提供する医療機関です。消化器科と血液内科を中心に、通院治療・入院治療・在宅医療を提供しています。近年は社会生活を続けながら専門治療を受ける外来患者さんが増加しているため、専門スキルを持つ看護師が患者さんを支えています。

札幌清田病院 外来患者さんの疾患別割合 (%)

消化器系疾患	30.0	血液・造血管疾患 および 免疫機能障害	2.1
循環器系疾患	26.8	症状・徴候・ 異常臨床所見	1.4
内分泌・栄養・代謝疾患	18.9	その他	3.4
新生物（がん）	7.2		
呼吸器系疾患	4.2		
筋骨格系・結合組織疾患	3.8		
感染症・寄生虫症	2.2		

2018年1～12月
ICD-10 大分類（国際疾病分類）

外来看護・ケアが より重要になっています

外来には、糖尿病や高血圧などの生活習慣病、消化器や血液のがんなどの治療を受けている患者さんが訪れます。限られた時間で患者さんの心身の状態を把握し、患者さんが安心して安全に治療を受けることができるようお手伝いします。最近は外来での治療が高度になり、外来看護業務も複雑になりました。医師だけでなく、さまざまな職種と連携する必要も出てきました。

外来看護師は20人あまりですが、「消化器チーム」「血液チーム」「外科チーム」「緩和ケアチーム」の4つに分かれ、専門性の高いケアを継続的に提供しています。

各チームごとに毎月1回開催されるカンファレンスで、患者さんの情報を共有したり、治療の方向性を確かめるなどして、看護の質を高めています。入院が必要になりそうな患者さんの情報は早めに病棟へ伝えています。治療の場が外来から病棟、病棟から在宅へと移行しても、医療や看護をスムーズにつなぐことを目指しています。

豊富な経験と専門スキルを持つ看護師も多く、糖尿病のコントロールやがん化学療法、緩和ケア療法など、個別性の高い治療の援助を担当しています。



看護師長
わたなべ ともか
渡部 友香
認定看護管理者

診察に必要な問診や採血を診療受付後に受けていただき、その結果を当日の診断や処方に生かしています。そのために生じる待ち時間についても、解消へ向けた取り組みを現在進めています。

またロビーに設置している2つのモニタに外来患者さんへ向けのお知らせを表示しています。ぜひ、お役立てください。



住み慣れた
地域で
医療を継続



外来



病棟



在宅

外来看護師の主な役割

通院治療で病気の回復を目指している患者さんが安心して安全・安楽に治療を受けられるよう援助します。

- 診察の介助、カルテ整理
- 患者さんへの問診、説明、指導
- 医師の指示下での注射、点滴、検査などの処置
- 病棟や在宅との連携

外来 看護課

- 消化器チーム
- 外科チーム
- 血液チーム
- 緩和ケアチーム

専門的な看護・ケアを提供する外来看護師の役割

患者さんの治療は、入院中心から通院に移行しつつあります。化学療法や緩和ケアも外来での治療が主流となっています。その中で外来看護師が、患者さんや家族に安心を与える存在となれるよう、専門スキルを高めています。

外来化学療法



さとう まゆみ
佐藤 真由美

確実に安全・安楽ながん治療を外来で

10人ほどの中堅看護師が、外来化学療法を受けているがん患者さんのケアを担当、抗がん剤の投与が安全に確実に安楽に行われるように支えています。個々人の治療計画に沿った投与手順や経路、時間は正しいかなどを確認しつつ、帰宅後の副作用予防や対処などの「セルフケア」を分かりやすく説明します。患者さんが不安にならないよう、病棟と連携し24時間対応の電話相談体制も整えています。

毎月1回開催されている化学療法委員会では、外来と病棟の患者さんの情報を多職種のメンバーが共有しています。化学療法は初回導入時に入院しますが、通院治療に移行しても患者情報が途切れることはありません。

緩和ケア外来



よしだ まきこ
吉田 真喜子

分かりやすい説明で納得できる選択を支援

緩和ケア外来では、近隣の医療機関でがん治療を受けていた患者さんや院内でがん治療を受けていた患者さんが診察を受けています。初回診察時には外来看護師とソーシャルワーカーが患者さんや家族と1時間ほどの面談を行います。がんの積極的治療から緩和ケア治療へと切り替えるにあたり、今後の希望を患者さんや家族から伺ったり、治療に対する不安や医師への質問を事前に引き出します。担当看護師は2人ですが、丁寧にお話を伺い、安心・納得していただきながら進めることを大切にしています。外来から入院治療に移行した場合も、緩和ケア委員会を通じて患者さんの情報を共有していますので、迅速で適切な看護へとつながります。

糖尿病・フットケア



いとう まさみ
伊藤 雅美
日本糖尿病療養指導士

患者さんの目標を共有し主体性を援助

外来看護課には糖尿病治療に関する知識を有する日本糖尿病療養指導士（CDEJ）4人と札幌糖尿病療養指導士（LCDE）3人がいます。糖尿病のコントロールは日常生活での自己管理が重要であり、患者さんの生活状況を把握し自主的に治療に取り組めるよう関わる必要があります。初回診断時の患者さんや糖尿病のコントロールが難しい患者さんと外来で面談し、「何をどのように改善するか」を一緒に考え、「目標」を患者さんの言葉で表し、実行を援助します。「患者参加型記録」を活用して生活習慣と一緒に振り返り、治療に取り組めます。また、糖尿病が引き起こす足病変を予防するフットケアも提供しています。必要時には皮膚・排泄ケア認定看護師が手伝います。

多職種が連携・協働する院内委員会・チーム活動

医師、外来看護師、病棟看護師、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカー、リハビリテーションスタッフ、事務職員などが定期的に集まり、今後の治療方針をさまざまな側面から検討します。検討症例の対象は、外来と入院の患者さんなので、治療を受ける場が移行しても、医療が途切れることはありません。当院の職種間の関係性の深さが、患者さんや家族の信頼へとつながっています。

外来看護師が参加している委員会・チーム

- 医療安全管理対策委員会
- NST・褥瘡対策チーム
- 緩和ケア委員会
- 化学療法委員会
- 糖尿病委員会
- 輸血療法委員会
- クリニカルパス委員会
- 内視鏡運営委員会
- 労働安全衛生委員会
- 地域包括ケア病床運営委員会
- 広報委員会

つながる
支える
連携医療機関

札幌清田病院では、地域の各医療機関と連携・協力しながら地域の皆さまに適切な医療を提供できる体制を整えています

医療法人社団 ひらおか内科胃腸科



病診連携で早期発見・早期治療を可能に

札幌市清田区平岡6条3丁目10-1

☎011-885-2110

内科、胃腸科、放射線科

久留米から縁あって札幌へ

福岡の久留米出身ですが、旅行で訪れた札幌が気に入り、北海道大学医学部へ。消化器科領域の画像診断を専門的に学びました。卒業後は久留米の大学病院に勤務していましたが、妻が道産子だった縁で札幌に戻りました。

「これからの人生は札幌で」と1992年に現在地で開業。周辺には当診療所と薬局しかなく、原っぱでキタキツネが遊んでいましたが、徐々に宅地化が進み人口が増え、働く世代とその子どもたちの日常病を診ていました。開院から

28年、高齢の患者さんが増え、高血圧、高脂血症、糖尿病の管理が重要な役割になりました。近隣にある事業所の企業健診も行っています。



檀浦龍二郎 院長

30年前から、自宅近くのスポーツクラブに週2回ほど通ってランニングやスイミングで体力を維持し、休肝日も週2回設け、健康維持を心掛けてきました。継続することが大事ですと患者さんにも勧めています。



消化器領域を中心とする定期健診を

かかりつけ医の役割の一つは「重大な病気の早期発見」です。半日人間ドックや特定健診、がん検診などを毎年実施し、異常が見つかったら、設備のある病院に精密検査を依頼し、迅速な治療へとつなげます。

胃のバリウムや内視鏡で気になる所見があったり、超音波検査で胆石や胆のうポリープを見つけた場合には、札幌清田病院に精密検査を依頼しています。患者さんに希望する病院を伺うと「自宅から近い札幌清田病院で検査を」と希望されることも多く、すぐに紹介状を書いて患者さんに渡しています。札幌清田病院は消化器科領域の専門医がいますので、安心してお任せできます。



札幌清田病院への交通アクセス

●中央バス

JR 札幌駅 発	(80) 月寒本線 (85) (86) 清田団地線 (88) 真栄団地線	「清田団地入口」停 下車
中央バス 札幌ターミナル 発	(97) 千歳線・広島線 (96) 柏葉台団地線 (113) 大曲光線	
地下鉄南北線 平岸駅 発	(平 50) 平岸線	
地下鉄東豊線 福住駅 発	(福 80) 月寒本線 (福 85・86) 清田団地線 (福 87) 有明線 (福 88) 真栄団地線 (福 96・97) 柏葉台団地線 (福 113) 大曲光線	「真栄」停 下車
地下鉄東西線 大谷地駅 発	(大 87) 有明線 (大 88) 真栄団地線	

外来診療時間のご案内

※受付は30分前から

診療科目		9:00	12:00	17:00
内科・消化器内科・ 腫瘍内科・血液内科・ リウマチ科	月～金			
	土			
循環器内科	火・水・金			
呼吸器内科	第1・第3水			
	第1・第3土			
外科・消化器外科・ 肛門外科・内視鏡外科	月～土			

※緩和ケア内科については、お問い合わせください

【休診日】日曜日・祝日

※夜間・休日・時間外の急患は
当直医師により随時診療

【売店営業時間】

平日 8:45～17:30

土曜日 8:45～13:00



Quality of Life

社会医療法人 札幌清田病院

ホームページ

<http://kiyota-hp.or.jp/>

〒004-0831 札幌市清田区真栄1条1丁目1番1号 TEL: 011-883-6111 FAX: 011-882-7477